

music from
JAPAN

音楽による
福島まち造り2021

これからの中島 震災・10年



Yae シンガーソングライター

ミュージック・フロム・ジャパン音楽祭 福島

2021/1/24 sun

会場 ふくしん夢の音楽堂
大ホール

〒960-8117 福島市入江町1-1
TEL.024-531-6221 FAX.024-531-6257
<http://www.f-shinkoukousha.or.jp/ongakudou>

開場12:45 | 開演13:30

PROGRAM

13:30~ 鼎談「復興10年・福島にエール」

参加者:木幡浩(福島市長)、土屋勝裕(NHK朝ドラ「エール」制作統括)
三浦尚之(福島市音楽文化総合アドバイザー)

コンサート 第1部 委嘱曲再演

・福島県立福島高等学校合唱部 ●ピアノ:馬場和美

14:30~ おやすみなさい(無伴奏混声編曲版)

作詞:長田弘 作曲:湯浅謙二

ときよめぐれ(までのロンド)(齊唱・ピアノ)

作詞:伊武トーマ 作曲:山根明季子

ひとであるあかしとして(女声3部・ヴァイオリン・ピアノ版)

作詞:若松丈太郎 作曲:佐々木冬彦 ヴァイオリン:伊藤光敦

飯館の四季・四句(混声合唱・ピアノ編曲版)

作詞:黛などか 作曲:鳴津武仁



コンサート 第2部 委嘱曲初演

カンタータ「いざ行かん、我らこそ光!」(混声合唱と弦楽合奏、バイオリンのための)
作詞:伊武トーマ 作曲:岡部富士夫

・指揮:岡部富士夫 ●演奏:混声合唱団「風」、福島男声合唱団、ドライシガー

Sopranoとオーケストラのための組曲「走れ、春」

作詞:齊藤芳生 作曲:鳴津武仁

・指揮:鳴津武仁 ●独唱:根本真澄(ソプラノ) ●演奏:管弦楽団

委嘱新曲 ●演奏:ピアノ、管弦楽団

作曲:鬼武みゆき 編曲:鳴津武仁

ともに歩こう 作詞・作曲:Yae オーケストラ編曲:鳴津武仁

ふたつ星 作詞:加藤登紀子 作曲:Yae オーケストラ編曲:小林直人

架け橋 作詞:Yae 作曲:Yae、鬼武みゆき オーケストラ編曲:鳴津武仁

TICKET 全席自由 2,000円(税込)

プレイガイド チケット一般発売:11月1日(日)~ ※プレイガイドによって
発売時間に異なります

・ふくしん夢の音楽堂
(福島市音楽堂)[インターネット]
<http://www.f-shinkoukousha.or.jp/ongakudou>

・ローソンチケット Lコード:21674
[店頭]ローソン・ミニストップのLoppi
[インターネット]<http://t-tike.com/> (PC/携帯共通)

・CNPプレイガイド

セブンイレブン(店内マルチコピー機セブンチケットより) ファミリーマート(店内FamiPayへより)
コールセンター TEL.0570-08-9999 [平日11:00~15:00、土日祝10:00~15:00(時短営業)]
※オペレーター対応

新型コロナウイルス
対策の実施



消毒の徹底



マスク着用の徹底



身体的距離の確保

主催

音楽による福島まち造り実行委員会

共催
助成

福島市/公益財団法人福島市振興公社/ミュージック・フロム・ジャパン
たまきはる福島基金/ふくしま未来研究会/地域経済産業活性化対策費補助



震災後10年を経ようとする福島の現状を見つめ、福島市民・県民の心の昇華を図る作品を、福島に縁の深い作曲家や作詞家、音楽家に委嘱・公演します。そして、過去に震災に関連して委嘱した作品を合わせて演奏することにより、震災からの歩みを振り返り、本当の復興を目指すためのこれから道を究める考え方を触発するような行事を開催します。また、これらの行事を通して聴衆の連帯感を深め、震災の傷からの心の復興を目指します。

PROFILE



歌手 / 作曲 / 作詞

Yae (ヤエ)

飯館村までい大使

2001年メジャーデビュー。存在感あふれる「声」でNHKみんなのうたや人気ゲームソフト「ファイナルファンタジー・クリスタルクロニクル」の主題歌とナレーションを担当する。代表曲「名も知らぬ花のように」は、東北大震災応援メッセージソングとして起用される。2020年10月7日に20周年記念アルバム「On The Border」をリリース。同年11月10日に東京・渋谷「伝承ホール」にて、20周年記念コンサートを開催。現在、5人家族と共に千葉県鴨川市にある「鴨川自然王国」で、農を取り入れたスローライフを送り、テレビ・ラジオの出演やパーソナリティーをはじめ全国でライブ活動をしている。環境省「つなげよう、支えよう、森里川海プロジェクト」のアンバサダーとしてメッセージを発信するなど、社会貢献の支援イベント等へ積極的に参加している。故藤本敏夫・歌手加藤登紀子の次女。

作曲 / 編曲 / 指揮

嶋津 武仁

SHIMAZU Takehito

ベルリン芸術大学卒業。ISCM(国際現代音楽協会)「世界音楽の日々」、ACL(アジア作曲家協議会)アジア音楽祭、ザールブリュッケン音楽祭、ドレスデン音楽祭、プロツワフ音楽祭、ICMC(コンピュータ音楽国際会議)など海外の音楽祭に招待され、国内外の演奏家や団体から多数の作品を委嘱。ヴィニアフスキ国際作曲コンクール(ポーランド)、ハンバッハ国際作曲賞(ドイツ)、ブルジョア国際電子音楽コンクール(フランス)、文化庁舞台芸術創作奨励特別賞など国内および国際作曲コンクールに入賞のほか、国際作曲コンクール審査委員など勤める。福島大学名誉教授。オーケストラ・フィル・ジッヒ芸術監督。ふくしま第九の会音楽監督。2013年よりニューヨーク・フィルとの子供の創作教育プログラムで連携を続けているほか、2020年7月より、福島県内の青少年のための無料のオンライン創作指導「作曲塾」を開講している。



作曲 / 指揮

岡部 富士夫

OKABE Fujio

福島生まれ。山形大学卒業。作曲を熊田為宏、三善亮、指揮法を前田幸市郎の各氏に師事。元郡山女子大学短期大学部音楽科教授、日本作曲家協議会会員。郡山市民オーケストラミュージックアドバイザー、郡山女声合唱団、「風」常任指揮者、FTV Jr.オーケストラ理事。武井賞、奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門入選、東京国際室内楽作曲コンクール3位、朝日作曲賞佳作。福島国体、夏季冬季大会の集団演技や身障者大会の開幕の音楽などを作曲。舞踊音楽、劇音楽、校歌、町民歌、社歌等多数。日本の作曲家、日本の音楽展、アジア音楽祭、東北の作曲家、またヨーロッパやアメリカなど海外でも演奏や作品発表を行っている。郡山市文化功労賞、同教育労賞、県文化振興表彰。



作曲 / ピアノ

鬼武 みゆき

ONITAKE Miyuki



合唱指揮

竹田 朗子

TAKEDA Akiko



ソプラノ

根本 真澄

NEMOTO Masumi



作詞

伊武 トーマ

IBU Thoma

1962年生まれ。福島市在住。【詩作品】「a=a」(思潮社 2001年)、

「現代詩最前線」(北冥社 2004年)、「反時代のラブソング」(現在「みらいらん」に連載中)、現代詩手帖、歴程、等詩誌に作品掲載。【歌詩】「ときめぐれ(までのいのロンド)」(ミュージック・フロム・ジャパン委嘱作品 2011年)。詩誌「歴程」同人、日本現代詩人会員、日本作詩家協会会員。



作詞

齋藤 芳生

SAITOH Yoshiki

福島市在住。

1999年短歌結社「歌林の会」入会、以後馬場あき子・岩田正尚氏に師事。2007年第53回角川短歌賞受賞、第一歌集「桃花水を待つ」にて第17回日本歌人クラブ新人賞、第三歌集「花の渦」にて第7回佐藤太郎短歌賞受賞。既刊歌集「桃花水を待つ」(角川書店2010年)「湖水の南」(本阿弥書店2014年)「花の渦」(現代短歌社2019年)。現代歌人協会会員。

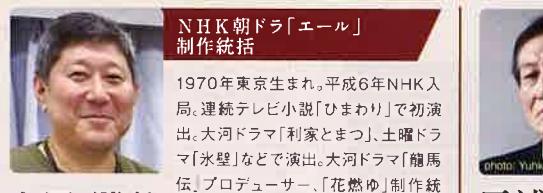
鼎談「復興10年・福島にエール」



福島市長

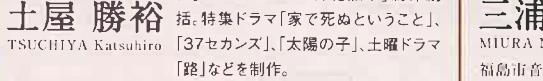
KOHATA Hiroshi

1960年飯館村で生まれる。昭和59年、東京大学卒業後、自治省(現総務省)入省。国や地方自治体において、財政、保健福祉、危機管理をはじめ、地域活性化など多様な分野を経験。岡山県副知事、復興庁福島復興局長などを歴任し、平成29年12月から福島市長。



NHK朝ドラ「エール」制作統括

1970年東京生まれ。平成6年NHK入局。連続テレビ小説「ひまわり」で初演出。大河ドラマ「利家とまつ」、土曜ドラマ「氷壁」などで演出。大河ドラマ「龍馬伝」プロデューサー、「花燃ゆ」制作統括。特集ドラマ「家で死ぬということ」、「37セカンズ」、「太陽の子」、土曜ドラマ「路」などを制作。



ミュージック・フロム・ジャパン理事長

福島市生まれ。東京芸術大学音楽学部附属高校及び大学卒業。1964年5月東京文化会館小ホールにて、日本史上で二人目のコントラバスソロリサイタル開催。同年7月渡辺暁雄指揮日本フィルハーモニー交響楽団と日本人で最初のコントラバス協奏曲を演奏(フジテレビネットワークより全国へ放送される)。1966年、フルブライト奨学生としてニューヨーク市ジュリアード学院博士課程で学ぶ。1975年、ミュージック・フロム・ジャパン社を創設。日本の現代音楽をニューヨークを中心に世界各地へ精力的に紹介。